



○ ドクカツ（独活）

語源

属名 *Aralia*： フレンチカナダの *aralie* という植物の現地名に由来。種小名 *cordata* は、ラテン語で「ハート型の、心臓形の」という意味で、葉の形がハート形の植物にしばしば用いられている。基原植物名、および生薬名の独活は、中国では元々、セリ科シシウド属のシシウド (*Angelica pubescens*) に対して用いられていた。『本草綱目』などによると、独活とは「一本の茎がまっすぐに立ち」、「風が吹いても揺れず、風がなくてもひとりで揺れる。ゆえに独揺草という」ためだという。和名のウドは 語源不明。体ばかり大きくて役に立たない者の例えを「ウドの大木」というが、ウドは茎が長大でも柔らかくて柱にも利用できないことによる。

基原

Aralia cordata Thunberg ウド

ウコギ科 多年生草本

中国産の独活にはウドを基原とする九眼独活も含まれているが、一般にウドの根は生薬名を土当帰といい、実際にはあまり用いられていない。

薬用部分

根茎

ウドの根のうち、とくに根茎部や宿根を独活（和独活）といい、側根や若根は和羌活という。

産地

日本、朝鮮半島、中国大陸

主な成分

クマリン： オストール、アンゲリコン、アンゲロールJ、アンゲリシン、キサントトキシン、スホンジン

主な薬効

発汗、駆風、鎮痛、利尿、消炎、感冒

代表的処方

風邪、頭痛、めまい、リウマチ、神経痛、関節炎などに用いられる。

【十味敗毒湯】

ジュウミハイドクトウ

体力中等度なものの皮膚疾患で、発赤があり、ときに化膿するものの次の諸症：化膿性皮膚疾患・急性皮膚疾患の初期、じんましん、湿疹・皮膚炎、水虫

（処方内容） 柴胡／桜皮（樺櫨）／桔梗／川芎／茯苓／独活／防風／甘草／生姜／荊芥／連翹

【疏経活血湯】

ソケイカケツトウ

体力中等度で、痛みがあり、ときにしびれがあるものの次の諸症： 関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛

（処方内容） 当帰／地黄／川芎／蒼朮（白朮）／茯苓／桃仁／芍薬／牛膝／威靈仙／防己／羌活／防風／竜胆／生姜／陳皮／白芷／甘草

【独活葛根湯】

ドクカツカクコントウ

体力中等度又はやや虚弱なものの次の諸症： 四十肩、五十肩、寝ちがえ、肩こり

（処方内容） 葛根／桂皮／芍薬／麻黄／独活／生姜／地黄／大棗／甘草

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「家庭の民間薬・漢方薬」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp